



～ 帰り花 ～

初冬に暖かい日が続くと、季節外れの花が咲くことがあります。これが帰り花で、「返り花」とも書きます。ぽかぽか陽気にだまされたのか、春に花芽が十分に育たず時期遅れに咲いたのか、あるいは次の春が待ち遠しかったのか…。

「忘れ花」、「狂い花」とか「狂い咲き」という言い方もあるようですが、やはり、「帰り花」の方が美しい言葉だと思います。よく見られるのは山桜、つつじ、桃、たんぽぽ、すみれ、山吹などです。盛りの時よりは淡い色ですが、けなげでほほ笑ましくもあり、また、どこか哀れでもあります。

近年は地球温暖化のせいか、紅葉が1カ月近くも遅れたりしていますが、四季の別が大きく崩れて、「帰り花」という言葉が意味をなさなくなるようなことがない事を祈りたいと思います。

帰り花 昔の夢の 寂かなる
(円地文子)

能代市長 齊 藤 滋 宣



能代風の松原駅伝で1区を
力走(10月6日)



きみまちニッ井マラソンで
10区を完走(10月21日)